

豊田市駅前商業協同組合

活性化基本計画

2010年5月

I. 豊田市駅前商業協同組合の現状と課題

1. 商店街の現状 [組合の構成] (2010年4月1日現在)

専門店							飲食		サービス									合計
衣料	寝具	写真	薬局	玩具	お茶陶器	書籍	居酒屋	喫茶	コンビニ	医療	人材派遣	エステ	印刷	ホテル	パチンコ	銀行 (準会員)		
2店舗	1店舗	1店舗	1店舗	1店舗	1店舗	1店舗	8店舗	3店舗	1店舗	2店舗	1店舗	1店舗	1店舗	1店舗	1店舗	4店舗		
8店舗							11店舗		12店舗									31店舗



I. 豊田市駅前商業協同組合の現状と課題

2. - 1 商店街の現状 [概要及び周辺環境]

- ・豊田市中心市街地の商業サービス誘致重点エリアに位置づけられている。
- ・商店街は南側の整備済み地区「コモ・スクエア」と未整備の北地区の2つに大きく区分されている。
- ・未整備の北側は2010年「北地区再開発準備組合」が発足し再開発に向け始動し始めている。
- ・駅前で立地の良い当商店街では、飲食店(特に居酒屋)が飲酒運転規制の影響もあり、急速に増えてきている。

H19年4月現在 5店舗 → H22年4月現在 8店舗

- ・東側のひまわり通り商店街と一番街商店街のある竹生通りは整備が終了し、南側のコモ・スクエアと併せ北街区と駅前広場の整備が急務とされている。
- ・豊田市中心市街地活性化計画の中心地区として今後の発展が望まれている。



I. 豊田市駅前商業協同組合の現状と課題

2. 一2商店街の課題

- ・居酒屋が中心となって来たせいもあり、平日の集客が夜間にシフトしてきており日中の人通りが減少してきている。
- ・日曜日の集客が極端に落ちてきており、それに併せ日曜日休業が目立ってきている。
- ・歩道の自転車通行が問題になっており対策が急務。

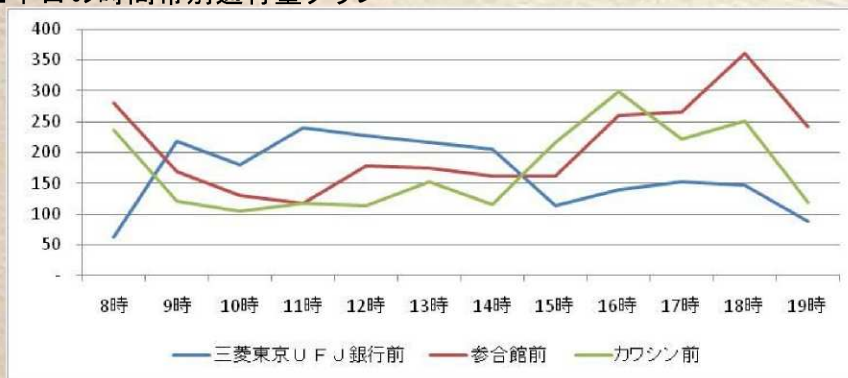
■休日と平日の通行量推移

地点	休日			平日		
	H21.10	H19.10	増減数	H21.10	H19.10	増減数
三菱東京UFJ銀行前	907	1,222	-315	1,989	1,891	98
参合館前	1,334	2,134	-800	2,501	2,719	-218
カワシン前	1,066	1,498	-432	2,070	2,793	-723
合計	3,307	4,854	-1,547	6,560	7,403	-843

■自転車・歩行者通行量比較

地点		休日			平日		
		自転車	歩行者	合計	自転車	歩行者	合計
参合館前	通行量	423	911	1,334	741	1,760	2,501
	構成比%	31.7	68.3	100.0	29.6	70.4	100.0

■平日の時間帯別通行量グラフ



資料：平成21年度豊田市中心市街地現況把握調査



豊田市中心市街地活性化基本計画より

- ・アーケードの老朽化が進んでおり、維持管理が難しくなっているが、再開発までの維持を図りたい。
- ・加茂病院の移転以降、通行量が減少し続けており、新たな賑わい創設の施設が望まれている。

I. 豊田市駅前商業協同組合の現状と課題

2. 一3市民ニーズから見る商店街の課題

- ・消費者グループインタビュー調査結果において、中心市街地に対して、活気や華やかさを求めている。現在の駅周辺はさびしいイメージで、華やかさにぎやかさがなく感じている。
- ・駅前ビルや各施設のつながりがなく、点と点の印象が強いことがうかがえる。店舗が立ち並び、歩いて楽しめるようなまちになって欲しいという希望が見受けられる。また歩いて楽しめるまちとしてバリアフリー機能やアーケード街を求めている。

⑥ 中心市街地へ求める施設・サービス

- 映画館（シネコン）の要望は非常に高い。友達・親子で楽しめる娯楽系複合施設も要望あり
- カフェなど、休憩施設や友人とおしゃべりできる場所
- 活気、華やかさ、バリアフリー・アーケード街
- 各ビルのフロアのターゲットの明確な設定（店の配置にばらばらな印象を持つ人が多い）
- 60代では、車が使えなくなるため、豊田市中心市街地への期待が高いとともに、公共交通の利便性の向上を求める意見も多い。

（全年代共通）

車で来やすいように…

○駐車場は、今の3時間無料では無料の時間帯を気にして長居できない。食事と買い物で長時間滞在したい。

一日楽しめるまちに…

○映画館・娯楽系（スポーツ・アミューズメント等）の複合施設が欲しい。家族などで楽しめる場所。

○おしゃれなカフェなど、少し休憩できるような施設が欲しい。

歩いて楽しめるまちに…

○駅周辺はさびしいイメージ、華やかさ、にぎやかさがなく。

○店がぼつんぼつんとあり、歩いて周りにくい、周る気がしない。

○回遊性を持たせるべき。ビルの中の店舗の集積よりも路面に店舗の連なりが欲しい。

○駐車場が少し遠い所であっても、目的場所までのアクセスルートが、歩いて楽しめるようになれば良い。

○夜の治安面が不安、街灯も暗く、店も大抵早く閉まる。安心して出歩けない。

資料：

中心市街地活性化協議会事務支援事業
テナントミックス研究会グループインタビュー調査

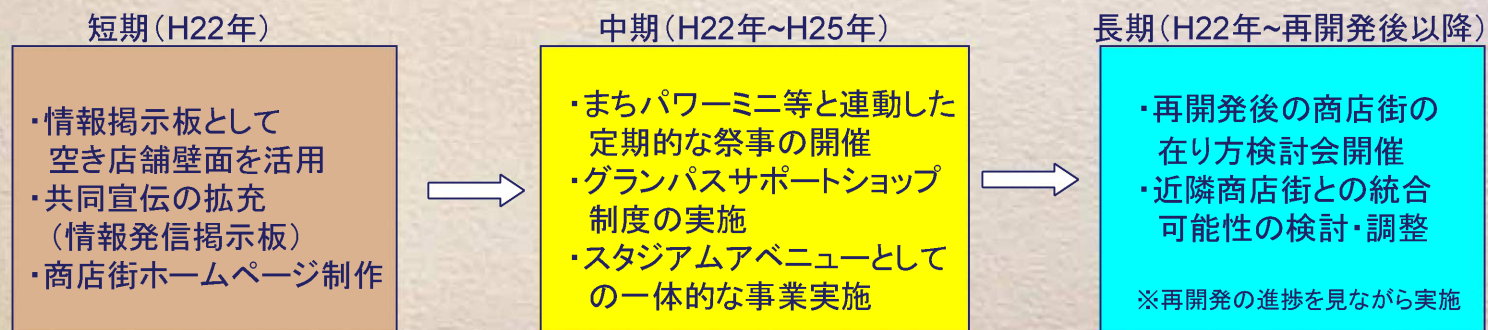
Ⅱ. 活性化の基本方針

豊田市駅前商業協同組合活性化の基本方針

豊田市のメインストリートとしての『賑わいの創出』と『多様性の創出』&『再開発を見込んだ将来像の創出』を目指します。

世界に知られる車の街のメインストリートとしては、現在の当商店街エリアの賑わいはあまりにさみしいものが有ります。人口40万人のメインストリートとしてもう一度その賑わいを取り戻す必要があります。いよいよ実現に向けて動き出した「豊田市駅前北地区再開発」とも連動し、今後のメインストリートの在り方、使命を今方針を定める絶好の時期であると考えます。

取り組み内容



Ⅲ. 活性化計画事業

事業計画①

取組1 メインストリートにふさわしい商品とサービスの提供を目指す事業
時期 平成22年度～

内容 ①一店逸品運動への参加店の勧誘【継続】
平成21年度までは1店舗のみの参加であったが、近隣商店街も参加取組店の増加推進を目指しており、当組合としても参加店の増加を推進する体制・補助などを検討していきたい。
→次回の参加店を2～3倍を目指す。

- ②専門店カアップのための勉強会開催。【新規】
- ・外部講師や魅力有る経営者を招き講義の場を設ける。
 - ・店舗装飾などのスペシャリストを講師に各店の陳列や装飾の輪転指導を依頼する。
 - ・各店の魅力・弱点などを組合員にてディスカッション



事業計画②

取組2 イベントや情報掲示を利用し賑わいと認知度の向上を目指す取り組みをする。

時期 平成22年度～

内容 ①情報掲示板の設置【新規】

・加盟店の店舗での取組・お買い得品・イベントなどを紹介する商店街掲示板を区域内に設置し、情報の見える化を目指し、商店街全体の集客力UPを図る取組を行う。

- 設置場所の検討・利用許可
- 掲示内容の審査・許可の検討
- 利用負担金の検討



②共催イベントの実施【新規・継続】

・組合区域内にある利用可能な空地を活用し、集客が落ちている日曜日や日中の来街者増進の一助とする。

- まちパワーフェスタミニとの連動
- 週末ミニライブの検討
- 開催場所の検討&利用許可の取得
(コモ広場・舗道・OIDENビル前スペースなど)
- スタジアムイベントとの連動イベントの検討(チケット持参者への優待等)
- ・グランパスホームタウンのメリットを活かし、入場券の半券での商店街加盟店の優待サービスを実施したい。
 - グランパスエイトホームページ&ブログとの連携【依頼中】
 - 勝利試合での優待UP政策
 - 参加店の見分けのためのフラッグやステッカーの制作
 - 中活計画よりオープンカフェ事業を継承
- ・よるの賑わい創出(イルミネーション)と連動したイベントの検討(はしご酒等)



③ホームページ制作【新規】

①②の取組を広く周知する手段として実施したい。
他のPR手段【新聞・折り込み広告】などに比べ費用面・情報更新の即時性で優位であり実施したい。



事業計画③

取組3 快適で安全安心なまちづくりに貢献する取り組みをする。
時期 平成22年度～

内容 ①商店街景観の検討【新規】

- ・歩道上へのはみ出し看板の規制徹底
- ・商店街共通ファザード看板の設置検討(再開発後)
- ・屋外広告看板規制ルール作り策定
- ・歩道・街路灯の今後の在り方の検討



②舗装・アーケードの維持管理検討【継続】

- ・北地区再開発完成までの維持管理改修計画の策定
- ・落書きの除去作業
- ・中活計画のフラワーロード計画との連携
- ・自転車の歩道通行の規制徹底
- ・共同清掃日の設定検討



③北地区再開発準備組合への関与【継続】

- ・再開発完成後の当組合の在り方を検討
- ・再開発計画



IV. 活性化計画事業一覧

	事業名	内容	実施者構成	時期	
取組1 メインストリートにふさわしい商品とサービスの提供を目指す取り組み	①一店逸品運動への参加店の勧誘	継続 次回運動の参加店を2〜3倍増	一店逸品運動実行委員会(商店街は参加)	H22年～H25年	
	②専門店力アップのための勉強会開催	新規 外部講師や魅力有る経営者による講義	まちづくり活動センター「パブリカ」 豊田市駅前商業(協)	H22年～	
		新規 専門講師による各店の陳列や装飾に関する訪問指導		H23年～	
		新規 各店の魅力・弱点などを組員にてディスカッション		H24年～	
取組2 イベントや情報掲示を利用し賑わいと認知度の向上を目指す取り組み	①情報掲示板の設置	新規 商店街加盟店店舗の取組・お買い得品・イベントなどを紹介する商店街掲示板を設置	豊田市駅前商業(協) まちなか宣伝会議	H22年～	
	②共催イベントの実施	新規 まちパワーフェスタミニとの連動したイベントの実施	豊田市駅前商業(協) ※実行委員会等の主体と協力	H22年～H25年	
		新規 スタジアムイベントとの連動イベントの検討		H22年～	
		継続 ふれ愛フェスタと連動したイベントの実施		H22年～H25年	
		継続 よるの賑わい創出(イルミネーション)と連動したイベント(はしご酒等)の実施		H22年～	
		継続 おいでんまつりと連動(観客席の設置と各店舗前ワゴンセール)		H22年～	
		新規 週末ミニライブの検討		H23年～	
		継続 年末年始謝恩大売り出し		H22年～H25年	
		継続 桜まつり		豊田市駅前商業(協)	H22年～H25年
		新規 グランパスエイトホームページ&ブログとの連携【依頼中】		H22年～	
	新規 グランパスエイト勝利試合での優待UP政策	H22年～H25年			
③ホームページ制作	新規 商店街ホームページの立ち上げ、運営	豊田市駅前商業(協)	H22年～H25年		
取組3 快適で安全安心なまちづくりに貢献する取り組み	①商店街景観の検討	新規 商店街ファサード、屋外広告看板ルール、歩道・街路灯の検討	三区自治区 北地区再開発準備組合 豊田市駅前商業(協)	北街区整備の進捗に合わせ実施	
	②舗装・アーケードの維持管理検討	継続 北地区再開発完成までの維持管理改修計画の策定	豊田市駅前商業(協)	H22年～H25年	
		継続 落書きの除去作業	三区自治区 豊田市駅前商業(協)	H22年～H25年	
		継続 中活基本計画のフラワーロード計画との連携	中心市街地活性化協議会(TCCM) 豊田市駅前商業(協)	H22年～H25年	
		継続 自転車の歩道通行の規制徹底	三区自治区、警察、豊田市 豊田市駅前商業(協)	H22年～H25年	
	③北地区再開発準備組合への関与	継続 再開発完成後の当組合の在り方を検討	北地区再開発準備組合 豊田市駅前商業(協)	H22年～H25年	
継続 再開発計画					

V. 評価指標及び評価の手法

活性化の目標指標を「歩行者通行量」とする。

○数値目標およびその設定根拠

・評価指標: 歩行者通行量

今後3年間において、下記の2地点における平日の歩行者数の18%増を目指す。

平成21年歩行者通行量		平成24年歩行者通行量	
三菱東京UFJ銀行	1,989人	三菱東京UFJ銀行	2,347人
カワシン前	2,070人	カワシン前	2,443人

※2地点は、豊田市中心市街地活性化基本計画の歩行者通行量数値目標の根拠となる関連地点である。

・設定根拠: 豊田市中心市街地活性化基本計画の歩行者通行量数値目標の伸長率に準ずる

評価指標	現状値(H19)		目標数値(H24)	伸長率
平日の歩行者通行量	25,788人	⇒	30,500人	18.2%

○評価の手法

豊田市が設置した自動計測装置により把握する。

VI. 推進体制

代表理事 吉村達也

理事会(平成22年度)

役職	氏名	事業所名
理事長	吉村達也	(有)カメラの店白樺
副理事長	森下寿	(株)丸森玩具
会計理事	伊藤発次	(株)寿屋テイサン
理事	原田浩久	(資)原田屋
理事	蟹昌弘	(有)タカハシ
監査役	平山之郎	トヨミ薬局

COMOスクエア(南開発)
テナント会

三区自治区
豊田商工会議所
豊田市商店街連盟拳母ブロック
中心市街地活性化協議会
駅前通り北地区再開発準備組合
パブリカ

メインストリートにふさわしい商品とサービスの提供を目指す
取り組み内容
・専門店カアアップのための勉強会開催。
担当: 伊藤発次
原田浩久
南開発(中村)

イベントや情報掲示を利用し賑わいと認知度の向上を目指す
取り組み内容
・情報掲示板の設置
・共催イベントの実施
・ホームページ制作
担当: 森下寿
平山史郎

快適で安全安心なまちづくりに貢献する
取り組み内容
・商店街景観の検討
・舗装・アーケードの維持管理検討
・北地区再開発準備組合への関与
担当: 蟹昌弘
吉村達也

★計画推進のための企画担当(平成22年度)